

# 目次

## I

理論の導き——自然は教育的である——	3
マッハの『力学』	18
三つの英語	31
「幅のある時間」を求めて——統計的時間を中心に——	37
アインシュタインから久保へ——非平衡統計力学の一章——	56
アインシュタインと原子論	68
私のエントロピーの考え方の発達	84
対談時間、量子力学者と精神病理学者の対話	100
対談エントロピーとともに	119



解説	ロケットの数学 . . . . .	290
	プラズマの挑戦——森を見なければならぬ—— . . . . .	296
渡辺 慧		
309		

## II

新々科学対話	163
「不確定性」その他	171
偶 然	180
物理学基礎理論——超多時間理論の展望——	184
速 度——ベータトロンをめぐって——	189
原子建築の設計者たち	192
数学と物理学	195
原子物理学とラビ	233
原子の世界と素粒子の世界——地球・人間・原子・素粒子——	239
現代物理学の道	256
二十世紀後半の物理学——湯川博士の非局所場の理論——	266
統計力学の行方	269
オペレーションズ・リサーチ——作戦研究——	273
ボルツマン『気体運動論講義』	281
ものを持っているだけでなぜ疲れるのか？	287